

## 令和4年度 10月(第4回) 理事会議事録

日時：令和4年10月12日(水) 19:00～19:50	
本会議場および Zoom による Web 参加	
出席者：（会場）ナースプラザ福岡 3F 303 研修室	
会長	外山洋子
副会長	倉重康彦、大久保文彦、緒方昌倫
総務局長	池上新一
運営理事	生田幹博、佐藤謙一、牟田正一、木村賢司、嶋田裕史、加藤康男、 田代恭子、新田誠、野田哲寛、浦園真司
理事	樋口雄哉、石川雄太、吉田重人
参与	西浦明彦
監事	北里謙二、小山宣輝
書記	市丸加奈子、中島涼
事務局	金子千代美
(Web)	
理事	西野達士、多田利治
欠席者	赤池一男

【議事】 司会 総務局長 池上新一

### ◇議題

- |                                |        |
|--------------------------------|--------|
| 1. 福臨技のコロナウイルス感染症対策（11月以降）について | 外山会長   |
| 2. 九州支部医学検査学会進捗状況報告            | 倉重副会長  |
| 3. 精度管理事業について                  | 牟田運営理事 |
| 4. 中間監査報告（財務管理部長報告後）           | 田代運営理事 |
| 5. タスク・シフト研修会について              | 木村運営理事 |
| 6. 第4回日臨技理事会報告                 | 倉重副会長  |
| 7. 各部報告                        |        |
| 8. 各支部報告                       |        |
| 9. その他                         |        |

◇会長挨拶（外山洋子）

朝夕の寒暖差も出てきましたが、体調を崩さないようにお願いします。コロナの方はかなり落ち着いてきていますので、絶好の学会日和になってほしいと思っています。本日もたくさんの議題がありますので、活発なご意見をお願いいたします。

1. 福臨技のコロナウイルス感染症対策（11月以降）について 外山会長

感染者もかなり減ってきており、福岡県のフェーズはⅢに下がりました。研修会を開催する施設が現地参加を認めるのであれば、それに従って下さい。開催形式は現地でもWEBでも可とします。全理事承認した。

2. 九州支部医学検査学会進捗状況報告 倉重副会長

残すところ1ヶ月を切りました。1350名の参加を予定していますが、現在の登録は約700名です。まだまだ少ない状況ですので、各方面から参加依頼を掛けています。特に理事の方々の施設からは多くの参加登録をお願いします。来週水曜日にはWEBで最後の実行委員会を開催します。現在運営マニュアルを作成中です。ある程度の叩き台として作成し近日中には実行委員に配信しますので、足りない部分を足していただき、28日までには完成させて現地スタッフにも配信したいと考えている。

3. 精度管理事業について 牟田運管理事

9月27日に三役も交え今後の方向性についての会議を行った。試料作製については限られた委員への負担や、作製する2万本の管理、さらに発送作業とかなりの負担を強いられているのが現状で、今後もこのままで継続していく事は困難である。負担軽減と次世代への継続を視野に、試料作製は継続するが九州以外の施設への提供は行わず、九州各県への提供本数の見直しを行い、減産していく。急に変更することはできないので、来年まではこれまで通り提供する。

外山会長追加発言

資料を確認ください。問題点と今後の方針を示しています。この資料を提示し今後の方針を11月の九州支部連絡会議にて指定と考えている。作製する試料は九州管内への提供が60～70%を占めており、大口のところには本数見直しや個別に作製して頂けるように指導も考えている。九州以外の各県に対しては2024年度以降の試料の提供を行わない旨を連絡する。

4. タスク・シフト研修会について 木村運管理事

今度の開催は10月23日、初めての日曜開催となります。2名キャンセルが出ましたので58名の受講です。11月は諸事情により開催しません。12月は17日（土）の開催ですが57名の登録があります。12月11日に初めて佐賀県が講習会を開催することとなり、実務委員2名の派遣要請が来ていますので、私と開催当初から実務委員をしてきている新古賀病院の諸岡技師が参加します。

5. 第4回日臨技理事会報告 倉重副会長

2026年度に国際学会開催予定。世界医学検査学会と日本医学検査学会との合同開

催を予定。担当は北日本支部だが開催場所がなく、会場は千葉幕張メッセを予定。中四国支部医学検査学会が赤字決算となっていたが、日臨技が補填することで理事会承認となった。

「政策渉外関連事項等における現状把握のための調査協力施設の選定」について、病床数に応じて各県4病院を選定することとなり、聖マリア病院、九州中央病院、嘉麻赤十字病院、高山病院を報告したので、今後これらの施設でパイロット調査が行われる。

「謝金及び旅費に関する規定」が9月に変更されている。HPにアップされているので確認して下さい。

ワーキンググループの提案がなされた中で、倫理要綱改訂ワーキンググループが設置された。倫理要綱は作成以来見直しがなされておらず、日臨技創立70周年でもあり、見直されることとなった。

精度保証認証施設ですが240施設が合格し、不適合が16施設であった。

厚生労働大臣指定講習会ですが、受講修了者が6258名です。佐賀、宮崎、鹿児島は未開催ですが、今後順次開催予定です。

臨地実習指導者育成講習会ですが、1200名くらいの資格者育成を目指しているが、現在までの受講者は757名である。九州は12月に開催する予定で進んでいます。

学術の九州支部研修会は3部門から申請されています。臨床血液と一般はすでに承認されています。

## 6. 日臨技九州支部医学検査学会について

倉重副会長

来週水曜日に実行委員会を開催する。新たに実行委員になられた方全員に会議に入って頂き、学会への協力をお願いします。新理事には委嘱状調査を行っています。情報共有のために今までの資料を「BOX」と言うコミュニケーションツールに格納していますので覗いてください。役割分担についてはすでにお話ししていますのでご協力をお願いします。6月15日が演題締め切りです。120演題登録を目標としていますが、まだ登録は17題です。延長を考えても6月29日までです。九州舞台の担当が日高主任に変わったことで滞っていたところが動き出しました。新たに学生フォーラム開催を日臨技が指示してきています。橋本実行委員を中心に企画を立案して頂きます。6月末までに企画書を提出しないとイケませんので、よろしくお願いします。シンポジウムの抄録締め切りが6月29日です。これには間に合わないので学生フォーラムおよび日臨技企画、宮島会長の基調講演の抄録も届いていないので、プログラムを作りながら構成の段階で差し込んでいきます。8月中旬が最終となるので、ここまでは企画を固めていただきたい。学会ホームページが明後日までには更新されません。各企画の座長や演者、新役員等掲載されます。

## 7. 各部報告

### ●管理・運営（生田）

資料提示あり。発送文書は記載通り。何度会費納入者も記載をご確認ください。

### ●財務管理部長（田代）

提示した資料に沿った、9月の会計報告。

## 中間監査報告

北里監事より、税理士の東先生立会いの下、監査を行った。確認を行った事項について、全て適正に行われていることを確認したとの報告であった。

### ●学術部長（佐藤）

資料に沿った学術研修会の開催状況報告。

### ●精度管理（牟田）

HbA1c と CBC サーベイについては採血の安全性や資格の問題で保留となっていた。血液センターに採血のお願いを申し出たが、対応不可との返事であった。精度管理入力画面に日程が決まり次第案内すると表示させているが、できないのであればそれを知らせなければいけない。

#### 外山会長追加発言

九州の各県では同意書を取って採血を実施しているところがあるようなので、その同意書を取り寄せ福岡独自の同意書を作成したい。採血量も多いので医師や輸血認定看護師にお願いした方が良いのではないかと。九州各県に問い合わせ、情報収集して対応を決めたいので、もう少し時間が必要となります。

試料発送状況一覧を添付しています。来年度は発送日を年3回とこちらで指定する予定です。

### ●広報・情報管理（嶋田）

資料に沿った、発送作業終了報告と今後の発送予定報告。

9月27日に今度の支部学会のポケットプログラム発送作業を終了しました。

10月31日分の「会誌ふくおか」の執筆ありがとうございました。本日最終確認をお願いいたします。

創立70周年記念誌の発刊は11月29日を予定している。

会員名簿については原案が出来ているので、三役に確認いただき了承が得られれば、進めて行きます。

### ●企画運営（木村）

先ほど報告した、タスクシフト研修会のみです。

### ●公益事業部長（加藤）

資料に沿った開催報告。

「第21回健康21世紀福岡県大会」ではスタッフ14名を派遣し、235名の頸部血管超音波検査を実施した。

11月6日（日）には「全国検査と健康展」を開催予定。

## 8. 各地区報告

### ●福岡地区（新田）

明日開催予定の生化学部門の研修会は事務局からの広報もあり、100名を超える参加となっています。

### ●北九州地区（赤池）地区長は不参加

資料以外の追加事項なし。

### ●筑後地区（野田）

資料に沿った開催報告。

中期講演会は 235 名のエントリーがあり、当日の聴講は 191 名、受講登録者は 163 名でした。

12 月には後期講演会を予定している。

●筑豊地区（浦園）

資料に沿った、今後の会議と研修会報告。

新人研修会は事前登録 60 名、当日の WEB 参加は 50 名、現地役員や 41 名のレポート提出者含めて、受講登録者は 51 名であった。

9. その他

◇共催申請 0 件

◇後援依頼 2 件

① 申請団体：関門地域感染症研究会 第87回抗菌薬適正セミナー 11月17日

② 申請団体：福岡糖尿病セミナー 第71回福岡糖尿病セミナー 11月26日

反対意見なく承認された。

その他

1. 賛助会入会申請 1社

○(株)キューリン

反対意見なく承認された。

その他

外山会長より

パンフレットを提示していますが、「福岡県 One Health 国際フォーラム 2022」の案内とホームページへの掲載のお願いが福岡県の医療指導課より来ておりました。県からのお願いでしたので、すでにホームページには掲載しています。

西浦参与より

先ほどの精度管理試料の話は非常に重たいことだと思いますが、基本は牟田部長を通してすべての決定事項を発信していく。加藤部長からの報告で、決められた以外の動きがあることも分かった。せっかくなのでいい形に作り上げ、良い方向に向かっているなので、この 1 年大変だとは思いますがよろしくお願ひしたい。

次回の会議からはマイクの使用を検討されてはいかがでしょうか。

議事録作成 令和 4 年 10 月 13 日

池上新一

議事録署名

\_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_ 印